

人権教育向けDVD一覧【職員・一般向け】 2024年11月現在

登録番号	タイトル	分	内容	対象
600195	夕映えのみち	38	インターネットは、人と人、人と情報をつなぎ豊かな社会を創る「文明の利器」である。その反面、使い方を間違えると、人と人の絆を断つ凶器に変わってしまう。もし、わが子が加害者あるいは被害者になったら、学校や地域で同じ事件が起きたら…。「あなたなら、どうするか?」と問いかける作品である。	一般
600224	めぐみ 拉致問題啓発アニメ	25	「北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ」 拉致という、自由を奪う行為を忘れないで下さい。このアニメ「めぐみ」は、昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の様を描いたドキュメンタリー・アニメです。	一般
600367	クリームパン	36	「いのちと人権」?つながるいのちを感じて?子どもや若者たちの間で、あまりにも軽く使われる『死にたい』『死ぬ』『殺すぞ』といった言葉。それは、彼らが「いのち」の尊さに気づいていないことの表れでしょう。もしかしたら、大人も気づいていないのかもしれない。「いのち」とは温かく、ずっしりと重いもの。一度失われたら、二度と再生しないもの。このドラマでは、人によって生かされ、つながっていく「いのち」を中心に描いています。※字幕副音声付き	中学生 一般
600406	エールを贈るバス	29	「子どもの居場所づくり」に心の教育映像を!二人の少女の出会いにさわやかな感動とあふれる涙-!その日から二人の少女の友情が芽生えていく-!直子(11歳)の母は、障害のある少女の心を傷つけてしまう。直子はすぐに母の間違いに気づき、心を傷つけた少女智香(8歳)に、母と謝りに行く。勇気を出して謝ったことで、直子と智香の友情が芽生え、直子たちは、障害者も健常者も同じ社会の一員として認め合う事の大切さを学ぶ、感動の児童向き人権問題啓発映画である。	一般
600804	ハッピーバースディ命かがやく瞬間	80	「あなたなんて、生まなきゃよかった。」誕生日に言われたママの一言から、声がでなくなったあすか。でも自然にかこまれたいなかで、祖父の愛にふれ、あすかは、心と声をとりのどします。そして、そこには、あすかを愛せないママのひみつが…。生きるよろこびを知った少女が、学校でのいじめに立ちむかい、家族をかえていくまでの、感動の物語。	一般
600932	夕焼け	35	主人公・瑠依は、幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも「家族のことは家族でやるのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーです。しかし、元ケアラーのあかりとの交流によって、自分の状況や本当の気持ちについて見つめ直し、将来に向き合うための一歩を踏み出します。この作品では、お互いを気に掛け、人と人がつながっていくことがケアラーと家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描きます。ケアは他人事ではありません。誰もがケアする側にもケアされる側にもなります。年齢属性問わず、共に助け合える「誰もが人権尊重される社会」の実現を目指すことを目的として制作された人権啓発ドラマです。	高学年 中学生 職員
600941	あなたの笑顔がくれたもの ~周りから見えにくい障害・いきづらさ~	37	主人公の麻友子は、発達障害である幼馴染の紗希、オストメイト(人口肛門保有者)の女子校生美織、祖母の介護をしている桃田、それぞれ周りからは見えにくい生きづらさを抱えている3人との関わり合いによって、自分の思い込みに気づき、変わる決意をします。本作品は、外見で決めつけたり、「障害者」や「ヤングケアラー」などカテゴリーで人を判断したりせず、一人一人が考えや感じ方も違う人間であるということを理解して向き合うことの大切さを学ぶことができる教材です。	中学生 職員
600942	バースディ	37	性的少数者については、依然として社会理解が進まず、偏見や差別、配慮に欠けた対応などで、自身の思いや悩みを打ち明けることが難しく、周囲の無理解に苦悩し、生きづらさを感じている状況など様々な問題があり、深刻な人権問題になっています。一方、性的少数者であることを打ち明けられた家族や友人等は、既成概念による偏見や知識不足によって、理解しようと向き合う前に混乱や抵抗感にとらわれてしまうことが多くあります。性の在り方は多様で一人ひとりの人権に関わることであるため、性的少数者の存在や悩みに気づくことが大切です。この作品を性的少数者について理解するきっかけとし、その多様性を認め、互いの人権を尊重することは、すべての人が自分らしく生きて行ける社会につながっていきます。そのような社会の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。	中学生 職員
600973	障害のある人の気持ち 私たちの一歩	18	社会にある全ての障壁を取り除くことは難しいことです。そのため、困っている障がい者を見かけたら手助けをすることが大切です。本作品では、実際に車いす体験をした二人の中学生のサポートと、パラアスリートのインタビューを通して、障害のある人がどのような手助けが必要とされているのか、私たちに何ができるのかを考えていきます。	職員